

News Letter

事務局よりのお知らせ

日本形成外科手術手技研究会
理事長 鈴木 茂彦

目次

- ・ 事務局よりのお知らせ
- ・ 第15回形成外科手術手技研究会印象記
およびプログラム
- ・ 主題演題最優秀賞抄録
- ・ 第16回研究会のお知らせ

第15回形成外科手術手技研究会が、平成22年2月6日(土) 形成外科診療開始50周年を迎えた長崎大学形成外科の平野明喜会長の下、長崎で開催されました。非常に多くの会員の皆様にご出席いただき、盛会裏に終了致しました。100題に迫る演題発表による活発な質疑応答が行われ、“こだわり”に焦点をあてた企画も好評で、このような実り多い研究会を主催していただきました会長ならびに教室の先生方、関係者の方々、そしてご出席、ご発表いただきました方々に心より御礼申し上げます。

本研究会は形成外科手術手技研究会と名称を変更してから出席数、発表演題数ともに増加傾向にあり、特に今回は飛躍的に増加いたしました。前回の理事会で、本研究会は形成外科の新しい手術手技の発表の場ならびに伝統的手術手技の伝承の場として非常に重要であるとの視点から「学会」への移行の検討が提案され、その後のメールでのアンケート調査でも多数の賛成が有り、今回の理事会で活発な意見が交わされました。理事会では研究会の名称をまず「日本形成外科手術手技研究会」に変更することが決まり、「学会」への名称変更は次回理事会にて討議されることになりました。名称が「学会」になっても気軽に新しいアイデアを発表でき、気楽に様々な情報交換ができる「研究会」的雰囲気を残す必要があることは、ほとんどの会員の皆様の共通の認識であると思います。今後、会員の皆様のご意見を伺いながら検討してまいりたいと存じますので、ご意見をお寄せ下さい。引き続き本会の運営、発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成21年度の理事会(平成22年2月6日開催)において、以下のことが決定されましたのでお知らせいたします。

1. 次期研究会は大阪医科大学上田晃一長会長の下、平成23年2月5日(土)大阪医科大学にて開催予定。
2. 次々期会長に独協医科大学の朝戸裕貴理事が推薦され選任された。
3. 名誉会員に中島龍夫先生、保阪善昭先生が推挙され承認された。
4. 鳥居修平先生が理事をご辞退された。
5. 新理事として推薦された候補者の中から、理事会後に以下の8名の先生が新たに理事として就任された。
上田和毅先生、田中嘉雄先生、内田 満 先生、中塚貴志先生、亀井讓先生、横尾和久先生、櫻井裕之先生、吉村陽子先生
6. 本会の名称が「形成外科手術手技研究会」から「日本形成外科手術手技研究会」に変更することが決定した。
学会への移行は次の理事会での討議事項となった。
7. 形成外科学会生涯教育委員会に対し出席点数の引き上げを申請し、理事会後に開かれた形成外科学会生涯教育委員会で引き上げが認められた。

第15回形成外科手術手技研究会 印象記

会長 平野 明喜 (長崎大学 形成外科)

九州地方がこの冬2番目の寒さに見舞われた2010年2月6日に第15回形成外科手術手技研究会を開催させていただきました。今回は教室の診療開始50周年の催しもあったためか、97演題というこれまでの2倍近い演題参加をいただきました。これもひとえに会員諸兄のご援助の賜物と心より御礼を申し上げます。ただ、演題数増加のためどうしても2会場とせざるを得ず、1会場でゆっくりと演題を聞くというこの研究会の良さが損なわれましたことを深くお詫び申し上げます。

日本形成外科学会学術集会が原著論文や総説の発表の場であるなら、この手術手技研究会は症例報告や Idea and Innovation が主役として受け入れられる発表の場です。そもそも形成外科医は僅か1cmの傷でも縫合創が判らな

いくらいにきれいに治すことに無上の喜びを感じる専門職ですので、この研究会は「形成外科医としてのこだわり」というテーマで、各先生の絶対に譲れないものを語っていただきました。主題テーマに「私のこだわりの道具」と「私のこだわりの方法」という日頃の職人芸を支える道具と方法を披露していただき、学会賞を競っていただきました。当初、こだわりの道具の審査には専門の機械メーカーの人にも採点に加わっていただきたいと考えていましたが、PL法など様々な問題があり残念ながら実現しませんでした。しかし、日常の場で直ぐに利用できそうなアイデアに富んだ発表が数多く見られました。これらの小工夫に対して、日本人特有のオリジナリティーの欠如した猿真似などという陰口を叩く人がいますが、多くの僅かな改良が集まって次の大きなステップアップにつながるのではないかと期待します。シンポジウムは日頃遭遇することの多い「指尖部損傷」と、昨年の形成外科学会総会で行われた皮弁移植に関するシンポジウムの続編としての要望にそって「皮弁移植術」の2つのシンポジウムを行いました。いずれも、術者によってこだわりの手技を披露いただき、有意義な討論がなされました。

前述のごとく、長崎地方は生憎の冬空で、医学部構内の2施設を使用したため、会場の足下寒さや会場間の震え上がるような寒さなど、参加の皆様にご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げ、重ねて皆様のご協力に深謝申し上げます。

第15回形成外科手術手技研究会プログラム

平成22年2月6日(於 長崎大学医学部記念講堂・良順会館)

1. 一般演題1 乳房・その他

座長：寺尾 保信(東京都立駒込病院 形成外科)

- 01 女性化乳房症における乳房縮小術のアプローチ法の検討
福岡大学 医学部 形成外科 西平 智和
- 02 人工物による乳房再建・乳房増大術における術中止血の小工夫
岩手医科大学 形成外科 細谷 優子
- 03 房再建における内視鏡下対側乳房 augmentation
癌研有明病院 形成外科 前田 拓摩
- 04 遊離皮弁による両側乳房再建症例の検討
東京慈恵会医科大学附属柏病院 形成外科 富田 祥一
- 05 後大腿皮弁と大殿筋皮弁による双葉皮弁で再建した坐骨部褥瘡の経験
清恵会病院 形成外科 岡田 雅
- 06 フルニエ壊疽後の陰囊欠損に対し薄筋皮弁を用いた陰囊再建を行った一例
総合病院国保旭中央病院 松本 大輔
- 07 耳介複合組織移植とドミノ型皮弁移植による鼻翼再建術
東京医科歯科大学 形成外科 岡崎 睦

2. 主題1 私のこだわりの道具

座長：菊池 雄二(東京女子医科大学 形成外科)

- D01 上下顎骨切りにおける我々のこだわりの道具
長崎大学 形成外科 遠藤 淑恵
- D02 10G 血管内留置針を用いた眼瞼下垂症に対する筋膜移植法
神戸大学大学院医学研究科形成外科学 一瀬 晃洋
- D03 テッシュエキスパンダー法の合併症対策ーモニタリングリザーバードームー
日本大学医学部 形成外科 磯野 伸雄
- D04 シリコンガーゼを使用した陰圧閉鎖療法の経験
東北大学病院 形成外科 三浦 孝行
- D05 Nasal Bone-Clip を用いた鼻骨骨折の新しい固定法
福岡山王病院 形成外科 小坂 正明
- D06 植皮術、皮弁移植におけるリング状のスーチャーホルダーの有有用性
松江赤十字病院 形成外科 安楽 邦明
- D07 漏斗胸手術(Nuss法)における新たなスタビライザーの試作
東京女子医科大学 形成外科 菊池 雄二
- D08 リンパ管細静脈吻合術におけるリンパ管同定・吻合時の工夫
大分三愛メディカルセンター 形成外科 浜田 裕一

3. 主題2 私のこだわりの方法1

座長：上村 哲司(佐賀大学医学部 形成外科)

- M01 Supermicrosurgery における Untied Stay Suture 法による Zone I 指尖部切断再接着術・リンパ管静脈吻合術
岡山大学 医学部 形成再建外科 長谷川健二郎
- M02 λ型吻合を用いたリンパ管細静脈吻合(LVA)
東京大学医学部形成外科・美容外科 山本 匠
- M03 イソギンチャク型タイオーバー固定法
順天堂大学医学部附属順天堂医院 宮本 英子
- M04 巻き爪の治療プロトコールー評価・保存治療・手術(ジグザグ爪床皮弁)ー
福岡山王病院 形成外科 小坂 正明

- M05 鼻涙管造影の新たな展開ー全涙道造影法の開発ー
福岡山王病院 形成外科 小坂 正明
- M06 小耳症における耳介挙上と外耳道形成合同手術後の頭部脱毛に対するわれわれの工夫
獨協医科大学 形成外科 渡邊未来子
- M07 異物埋入患者の超音波検査の有効性と限界
池友会新小文字病院 形成外科 木股 完仁
- M08 減張創に対する経時的縫縮法
金沢医科大学 形成外科 島田 賢一
- M09 Slip knot の形成外科領域での使用ー結紮法と結束強度についての検討ー
東京都立清瀬小児病院 形成外科 玉田 一敬

4. シンポジウム1「指尖部損傷」

司会：柴田 実(新潟大学医学部 形成外科)
光嶋 勲(東京大学医学部 形成外科)

- SI1 指尖部損傷に対する人工真皮の応用とその限界
宝塚市立病院 形成外科 黒川 正人
- SI2 人工真皮による指尖損傷の治療：その適応と限界
東京医科大学八王子医療センター 形成外科 菅又 章
- SI3 指掌側皮弁におけるステップデザインへの応用
高月整形外科病院・東京手の外科スポーツ医学研究所 稲見 浩平
- SI4 指尖部損傷に対する graft-on flap
四谷メディカルキューブ手の外科センター 平瀬 雄一
- SI5 足趾部分移植による指尖欠損の治療
昭和大学藤が丘病院 形成外科 木村 直弘
- SI6 指尖部損傷に対する digital artery perforator (DAP) flap をもちいた治療と様々な応用
ーfree style supermicrosurgeryー
東京大学形成外科美容外科 成島 三長
- SI7 末節切断再接着に対するわれわれの基本方針について
大津赤十字病院 形成外科 石川 浩三

5. 主題2 私のこだわりの方法2

司会：安田 浩(産業医科大学 形成外科)

- M10 Blaschko line から RSTL (by Borges AF) へーserial excision の理論
神戸大学大学院医学研究科 形成外科学 寺師 浩人
- M11 Tessier 法による腸骨採取
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 三鍋 俊春
- M12 サージカルワイヤーを用いた Le Fort I 型骨切り・移動術における簡便な3次元固定位置決め方法：Multi-Pivot-Wiring Technique の有用性
東京警察病院 形成外科・美容外科 渡辺 頼勝
- M13 経結膜切開法のコツ
ー経結膜切開法での術野展開は本当に狭いのかー
沖縄県立中部病院 形成外科 石田 有宏
- M14 頭蓋骨縫合早期癒合症に対する前額部テンプレートをを用いた supra-orbital bar 作成
大阪市立総合医療センター 形成外科 藤本 卓也
- M15 菲薄化した皮膚の縫合時の一工夫
産業医科大学病院 形成外科 安田 浩
- M16 粉瘤摘出の私のこだわり
(くり抜き・注入・回転による方法)
宇治武田病院 形成外科 前田 健志
- M17 もみあげを採皮部とした全層植皮による眉毛・生え際の再建法
大阪大学 形成外科 松田 健

6. シンポジウム2

「皮弁移植術-主義の再考-各種腫瘍再建に用いられる代表的皮弁」

司会：中塚 貴志（埼玉医科大学 形成外科）

山本 有平（北海道大学医学部 形成外科）

- SII1 遊離前腕皮弁を用いる頭頸部再建術の手術手技
神戸大学大学院医学研究科形成外科学 橋川 和信
- SII2 前外側大腿皮弁による頭頸部再建 手技の再考
国立がんセンター東病院 形成再建外科 櫻庭 実
- SII3 腹直筋皮弁による頭頸部再建
愛知県がんセンター 中央病院 形成外科 兵藤 伊久夫
- SII4 DIEP flapによる乳房再建
慈恵医大柏病院 形成外科 武石 明精
- SII5 広背筋皮弁による乳房再建
大阪大学 形成外科 矢野 健二
- SII6 腹直筋皮弁による乳房再建
獨協医科大学 形成外科 朝戸 裕貴
- SII7 前外側大腿皮弁による骨軟部腫瘍の再建
岡山大学 医学部 形成再建外科 長谷川健二郎
- SII8 広背筋皮弁を用いた骨軟部腫瘍の再建
癌研有明病院 形成外科 澤泉 雅之

7. 一般演題2 頭頸部再建

司会：橋本 一郎（徳島大学医学部 形成外科）

- 08 外耳道癌切除後の再建において閉創時に残存耳介の位置を決定するための一工夫
東京医科歯科大学 形成外科 田中颯太郎
- 09 Recipient Bed Preparation を念頭においた耳下腺癌切除後の顔面神経即時再建
大阪市立大学大学院医学研究科 形成外科学 元村 尚嗣
- 10 Finger Function を考慮した舌半側切除後再建
自治医科大学 形成外科 去川 俊二
- 11 Fascia Bow Traction 法（仮題）による頬粘膜癌術後の顔面神経下顎縁枝麻痺の再建の工夫
独立行政法人 大阪医療センター 形成外科 吉龍 澄子
- 12 広背筋皮弁手術における血管茎の捻転を予防するための小工夫
神鋼病院 形成外科 奥村 興
- 13 腹直筋皮弁に対する super-drainage や super-charge の必要性について
久留米大学 形成外科・顎顔面外科 古賀 憲幸

8. 一般演題3 手の外科・遊離皮弁

司会：柏 克彦（岩手医科大学 形成外科）

- 14 Angular branch を茎とした肩甲骨皮弁によるユニークな骨再建
国立病院機構長崎医療センター形成外科 藤岡 正樹
- 15 舟状骨骨折に対する局所麻酔下小切開法
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座形成外科学分野 鳥谷部 荘八
- 16 指尖部に対する VY advancement flap の工夫
岡崎市民病院 形成外科 加藤 剛志
- 17 腹部有茎皮弁移植術による手、指尖部再建術後の安定した上肢固定方法
南川整形外科病院 手の外科・外傷センター 酒井 邦夫
- 18 欠損指に対する wrap-around flap transplantation による再建
東京大学医学部附属病院 形成外科・美容外科 原 尚子
- 19 (演題取り下げ)
- 20 肋骨付き広背筋皮弁を用いた外傷性上肢骨軟部組織欠損の再建の1例
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 相原 徹
- 21 遊離胃漿膜付き大網弁による気管支瘻の治療
名古屋大学 形成外科 八木俊路朗
- 22 手術用顕微鏡下 ICG 蛍光観察用キセノン光源装置を用いたリンパ管静脈吻合術の経験
獨協医科大学 形成外科 藤澤 大輔

9. 一般演題4 硬化療法・先天異常

司会：緒方 寿夫（慶應義塾大学医学部 形成外科）

- 23 当院におけるエタノール硬化療法の実際
松江赤十字病院 形成外科 弓削 俊彦
- 24 synovial cyst に対する多血小板血漿 (PRP) 注入治療
医誠会病院 形成外科美容外科 三宅ヨシカズ
- 25 AVM の治療手技選択 - 斗南病院における治療戦略 -
KKR 斗南病院 血管腫・血管奇形センター 長尾 宗朝
- 26 唇裂初回手術における余剰皮膚性赤唇の温存と二期的有効利用
久留米大学形成外科・顎顔面外科 力丸 英明

- 27 顎裂部骨移植術の骨欠損部に対する 3D-CT を用いた解析
大阪医科大学 形成外科 大谷 一弘
- 28 顎裂部骨移植術における一工夫
昭和大学 医学部 形成外科 土佐 泰祥
- 29 小耳症の外耳道形成共同手術における術後外耳道狭窄防止の工夫
獨協医科大学 形成外科 尾野村麻以
- 30 当院における臍ヘルニア手術の一工夫
宮崎江南病院 形成外科 橋口 叔子

10. 一般演題5 頭蓋顎顔面外科

司会：力丸 英明（久留米大学 形成外科顎顔面外科）

- 31 前頭骨骨折に対して吸収性メッシュプレート及び pericranial flap を利用して整備を試みた一例
関西医科大学附属滝井病院 形成外科 尾崎裕次郎
- 32 MCDO 法におけるハーブーン固定に関する工夫
大阪医科大学 形成外科 大場 創介
- 33 無歯顎下顎骨骨折に対し義歯を介した顎間固定で治療した2例
国立病院機構長崎医療センター 形成外科 増田 佳奈
- 34 犬咬傷による尾側 1/3 耳介欠損に対する1期的再建の1例
獨協医科大学病院形成外科学教室 高田 悟朗
- 35 顔面皮膚腫瘍切除後の再建における上眼瞼皮膚の利用
藤沢市民病院 形成外科 小倉重紗子
- 36 眉毛下切開除皺術で出来ること
富士森形成外科 連水 英衣
- 37 ゼルフィルムを用いた三重瞼の治療
慶應大学病院 形成外科 高山 昌賢
- 38 義眼陥凹症例に対する3ステップアプローチ
旭川厚生病院 形成外科 皆川 知広
- 39 頭皮の楔状切開による癬痕性脱毛の防止
徳島大学医学部 形成外科 森本 篤志

11. 一般演題6 創傷治癒・その関連

司会：小川 令（日本医科大学 形成外科）

- 40 ケロイド手術の新しい縫合法ー筋膜縫合法ー
日本医科大学付属病院形成外科・美容外科 赤石 諭史
- 41 初期型ポケットと遅延型ポケットの被蓋を有効に再建に使う工夫
会津中央病院 形成外科 石井 暢明
- 42 Tissue Expander におけるλ切開の効用
大阪医科大学 形成外科 原 舞
- 43 Tissue Expander を用いたリストカット痕の治療
大阪医科大学 形成外科 三倉 文子
- 44 超早期手術後に自家培養表皮移植を併用した広範囲熱傷の一例
関西医科大学附属枚方病院 形成外科 日原 正勝
- 45 縦隔炎に対する創内持続陰圧洗浄療法の一工夫
神戸大学大学院医学研究科形成外科学 榊原 俊介
- 46 “クリオネ法”による臀部再建
慶應義塾大学 形成外科 清水 瑠加
- 47 陰茎部遊離植皮術における Hanging Tree 法の応用
大阪医科大学 形成外科 塗 隆志

12. 一般演題7 工夫

司会：寺師浩人（神戸大学大学院医学研究科 形成外科）

- 48 ポリ袋と紙コップを用いた、簡便な術中撮影システム（仮称 Bag and Cup method）
聖マリア病院 形成外科 雑賀 厚臣
- 49 X線透視下に2つのリングを重ね合わせて、頸部に迷入した針を摘出した1例
大阪赤十字病院 形成外科 藤高 淳平
- 50 ウーンドリトラクターを用いた採骨手術の経験
金沢医科大学 形成外科 門平 充弘
- 51 非対称的 spindle shaped excision
福島県立医科大学 形成外科 長谷川晶子
- 52 安全な一期的エクスパンダー挿入
癌研有明病院 形成外科 藤田 和敏
- 53 当院における Needle dissection の活用法
富士森形成外科 日下 淳子
- 54 当科における Harmonic focus の使用経験
徳島大学医学部 形成外科 清家 卓也
- 55 縫合糸をどう選択するかー合成吸収性縫合糸の特性についての検証ー
北海道大学医学部 形成外科 村尾 尚規
- 56 CRPS type2 に対する皮弁移植術
東京大学医学部形成外科・美容外科 菊池 和希
- 57 陰部リンパ浮腫に対する LVA
東京大学医学部形成外科・美容外科 大島 梓

主題演題最優秀賞抄録

主題1 「私のこだわりの道具」

10G 血管内留置針を用いた眼瞼下垂症に対する筋膜移植法

神戸大学大学院医学研究科 形成外科学
○一瀬 晃洋、田原 真也

【目的】 10G の血管内留置針による筋膜移植のためのトンネル作成法を報告する。

【方法】 重瞼線および眉毛上の小切開間の眼輪筋下に、10G の血管内留置針を2本通し、外筒のみ10数分留置する。2本の外筒に、約2mm幅の大腿筋膜をナイロン糸をガイドとして通し、トンネル内に筋膜を残して外筒を抜去する。外筒の留置時間には、大腿筋膜の採取・分割や対側眼瞼の手術操作を行う。

【結果】 大径の留置針によって、筋膜移植のトンネルが容易に作成され、同時に十分な止血が達成され、術後の腫脹は軽度であった。針の刺入は数秒で完了し、外筒の留置時間に他の手術操作を進めることにより効率的な手術が可能であった。

【結論】 本方法は、簡便、低侵襲で術後の眼瞼の腫脹が少ない、迅速な手術が可能、入手が容易であることなどの利点がある。10G の血管内留置針は、注入用の脂肪採取に加えて、筋膜や神経移においても有用な手術ツールとして推奨できる。

主題2 「私のこだわりの方法」

もみあげを採皮部とした全層植皮による眉毛・生え際の再建法

大阪大学形成外科¹⁾
Department of Plastic Surgery, St. Vincent's Hospital Melbourne²⁾
○松田 健¹⁾、庄野文恵¹⁾、細川 亙¹⁾、Tony Pennington²⁾、Wayne Morrison²⁾

【目的】 顔面の皮膚悪性腫瘍などの切除に際し、切除範囲に眉毛が含まれる場合には眉毛の再建を考慮する必要がある。我々はおもみあげの毛の性状、密度、毛流が眉毛のそれに近いことに注目し、眉毛欠損の再建に用いる全層植皮の採皮部として用いた。また額の生え際を含む皮膚欠損に対しても同法を用いた。

【方法】 欠損部を一部縫縮した後、皮膚欠損部と植皮片の生え際を一致させるようにおもみあげより全層植皮片を採取し移植した。Defattingにあたっては毛根を損傷しないように留意した。

【結果・考察】 植皮片は良好に生着し、切除された眉毛または生え際が再建された。本法は耳前部皮膚の性状が眉毛周辺への植皮に適していること、同側、または対側からの採皮部位を考慮することで生え際、毛流の一致する植皮片が採取可能であること、皮膚悪性腫瘍の患者の多くは高齢で皮膚採取部に余裕がある場合が多いことなど、数々の利点を有していると考えられた。

第16回日本形成外科手術手技研究会のお知らせ

第16回日本形成外科手術手技研究会
会長 上田 晃一

この度、平成23年(2011年)の形成外科手術手技研究会を私どもの大阪医科大学形成外科学教室が主催させていただくことになり、まことに光栄の限りでございます。

前回の長崎大学医学部で行われました第15回形成外科手術手技研究会に参加させていただきまして、感じましたことは各演題ひとつひとつが非常に面白く興味深いことでした。なぜかと考えますと各演者が自分で編み出したアイデアや創意工夫を持ち寄って発表しているところではないでしょうか。また聴いている側も日々の診療を通じて同じような苦勞をし、演者の考えたアイデアに対して共感を感じることができる点ではないでしょうか。大きな学会での発表では論文形式に沿っての発表となり、症例数がある程度そろっていないといけないという前提があり、それがかえって発表の面白みを半減させているのかもしれない。

このような誰しもが日々の診療で考えているアイデアや工夫を、1例でもけっこうですので、手術手技のみならず、診断の工夫や画像処理、日常の処置の工夫、術後管理などに対してもお持ちでしたら、ぜひ来年の研究会にお持ちよりいただいて発表していただければ幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成23年2月5日(土)

場所：大阪医科大学 臨床第1・2講堂

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL: 072-683-1221 (大学)

TEL: 072-684-6451 (医局)

FAX: 072-683-3721 (医局)